

参考施設

令和元年8月16日
武蔵野市吉祥寺東町1丁目市有地利活用検討委員会
参考資料2

マギーズ東京



がん患者、家族、医療従事者など、
がんに関わる人の居場所

カウンセリングや栄養、運動の指導
などの専門的な支援が受けられるほ
か、のんびりお茶を飲んだり、読書を
したりと、好きなように過ごすこともで
きる。

海が見える立地、開放感のあるしつ
らえ、レベルの高い家具等、こだわり
のある空間づくり

気持ちが塞いでいるがん患者やその家族のために

- ・リラックスできるこだわり空間
- ・専門家の支援が受けられる「病院ではない」場所



はつらつセンター豊玉（練馬区）



- ・60歳以上の練馬区民を対象とした老人福祉センター。社会福祉法人が指定管理を受けて運営。

- ・体操や趣味の講座開催、利用者のサークル活動、看護師による健康相談、入浴事業など、幅広い事業を展開している。

- ・月に1回、交流食堂「じゅげむ」を開催し、子どもから高齢者まで、多世代が利用している。

- ・高齢者を対象とした施設だが、交流食堂を実施することで様々な世代が集う場に。
- ・交流食堂は収益事業にはなりえない。法人の熱意とJA(食材提供)やボランティア(配膳・後片付け)の協力によって成り立っている。

暮らしの保健室（新宿区）



・病気や介護、日常のちょっとした困りごとなどを、予約なしでいつでもだれでも相談できる。

・相談事業の他、ストレッチや手芸などの講座、医療・介護・福祉の専門職の勉強会等も行っている。

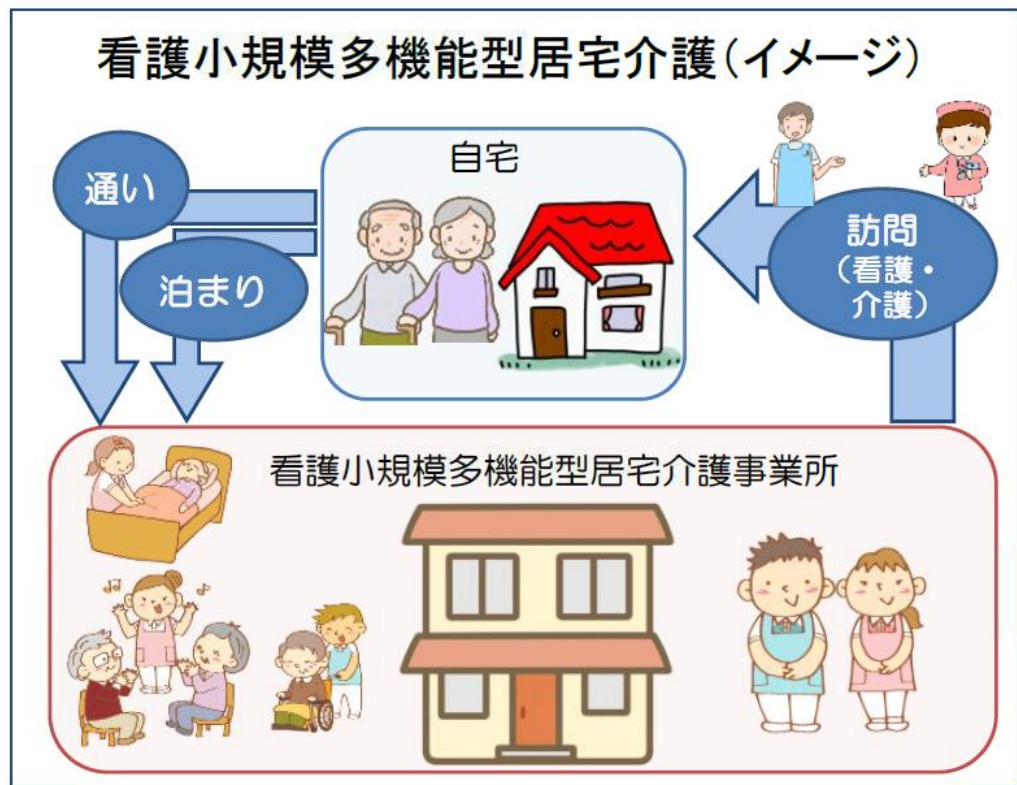
・相談や講座への参加ではなく、ただお茶を飲んでおしゃべりするなど「居場所」としての利用も。

・暮らしの保健室を利用して元気になった人が、今度はボランティアとして活躍し、支援の循環が生まれている。

・行政や病院による医療・介護・福祉ケアのすきまを埋める事業で、各分野を「つなぐ」場に。



看護小規模多機能型居宅介護(カンタキ)



- ・登録者に対し、「通い」「泊まり」「訪問(看護・介護)」のサービスを一元的に提供する。

- ・看護があるため、医療ニーズが高い利用者にも対応可能。

- ・武蔵野市では平成30年12月、民間事業者により、市内初のカンタキ「ナースケアたんぽぽの家」が関前に開設された。登録の定員は24名。

- ・利用者や家族の状態、都合に合わせ、受けるサービスを柔軟に選択できる、近年全国的に広がっている在宅介護支援施設。

- ・事業採算性確保のため、訪問看護ステーションを併設し、カンタキ登録者以外を対象とした訪問看護サービスを実施することが多い。

